

2019年2月4日

各位

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お客様本位の業務運営に関する方針への取り組みについて

インベスコ・アセット・マネジメント（以下「当社」）では、「お客様本位の業務運営に関する方針」（以下「本方針」）に基づき、継続的にお客様本位の業務運営に向けた様々な取組みを推進しております。ここでは、その取組みの一部についてご紹介させていただきます。

方針1：資産運用のプロフェッショナルとして、[Code of Conduct](#)*に準拠し、グローバル・レベルの高い職業倫理の醸成に努めるとともに、お客様の最善の利益を追求するよう努めてまいります。

取り組み：

当社では、マネジメントから職員に対して常に法令遵守、お客様本位の業務運営の重要性を周知するとともに、全役職員に対して定期的なコンプライアンス研修を実施するなどして日頃から役職員の職業倫理の向上に努めています。これらの努力によって役職員が主体的に、資産運用業者としての社会的責任とその役割の重要性を認識し、積極的に倫理観を向上させることを奨励しています。また、社内に相互牽制機能が働く組織体制を構築することによって、資産運用業者として疑義が生じる行為等について適切な判断ができるようにしております。

方針2：利益相反管理に関する規程の下、業務の遂行において、お客様との利益相反の可能性について把握に努め、適切な対応を行います。

取り組み：

当社では、利益相反のおそれのある行為、取引を適切に管理し、お客様及び当社が運用する運用資産を守るために様々なモニタリング活動（ファンド間の取引、役職員の有価証券取引等）を行い、その結果を利益相反管理委員会、リスク管理委員会に報告する管理体制を構築しています。これらにより、利益相反のおそれのある状況を特定した場合、利益相反のおそれのある取引についてお客様への開示を行うことや取引そのものを中止する等の適切な判断ができるような体制となっています。

方針3：私たちが提供する金融商品・サービスについて、お客様にご負担いただく手数料や費用がどのようなサービスの対価であるかを、関連するその他の重要事項とともに分かりやすく提供いたします。

取り組み：

当社では、手数料や費用はもとより、お客様にお届けするその他の重要事項を分かりやすく伝えることは、当社の商品を理解していただく上で大切なことであると考えています。こうした考えのもと、交付運用報



告書については2018年3月から、交付目論見書については2018年9月からユニバーサルフォントの使用を順次開始しています。また、交付目論見書については、ユニバーサル・デザインのコンセプトによるデザイン変更により視覚的な「分かりやすさ」の向上を図るとともに、お客様にご負担いただく手数料や費用、投資リスクなどの記載内容の面においても、「分かりやすさ」の向上を目指します。月報あるいは販売用資料といった資料についても、平易で明確な表現を用いることで「分かりやすさ」の向上に努めています。

方針4：お客様のニーズに合う多様な商品を開発するとともに、お客様にご満足いただけるよう、それぞれの商品の情報提供に努めてまいります。

取り組み：

当社の商品開発におきましては、日本法人での厳格な承認プロセスに加え、アジア太平洋地域ならびにグローバルでそれぞれ厳格な承認プロセスが存在します。それぞれのプロセスは委員会形式を採用しており、様々な部門の代表から構成されております。それぞれの委員会において、運用戦略やストラクチャーの妥当性に加え、リスク管理手法、顧客ニーズおよび顧客適合性、ならびに費用水準の妥当性などを総合的に検討、議論した上で、商品を世に送り出すか否かの決定が行われます。このように、当社においては、常に顧客本位の商品が提供されるような仕組みを整えて、商品の開発を行っております。商品の情報提供については、月報や運用報告書などの定期的な資料に加え、商品の特徴をわかりやすく説明するための販売用資料や、市場の大幅変動時の臨時レポートを作成するなど、きめ細やかな対応を行っています。また、投資家の皆様に当社の商品やサービスに加えて、資産運用に関する広範な情報提供を行うことで、資産運用に関して、より深く理解していただけるように努めております。

方針5：研修などを通じて、役職員への当該方針の周知徹底を図ってまいります。

取り組み：

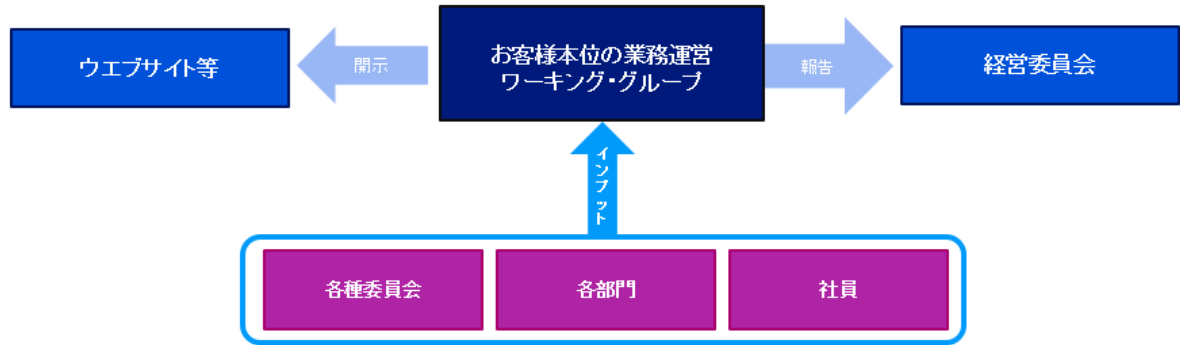
当社では、定期的に全役職員を対象にコンプライアンス研修を実施しております。当該研修の一部として、「職業倫理」や「利益相反管理方針」について周知の徹底を図っています。

方針6：当該方針に基づく取組状況を定期的に公表するとともに、この方針自体の見直しも行ってまいります。

取り組み：

当社では、お客様本位の業務運営の各方針を所轄する部門の代表を中心としたワーキンググループが進捗状況の確認を行い、経営委員会に報告します。また、取り組み状況を定期的に公表するとともに、必要に応じて方針の見直しも行っていく予定です。

イメージ図



*インベスコ・グループが策定する行動規範です。